

知・徳・体のバランスのとれた心豊かで創造性に富む生徒の育成

～校訓（至誠・勤勉・自治）が象徴する伝統を継承するとともに、主体的に学び、未来を共に創ろう～

# ひやっかりょうらん 百花繚乱

発行:古河市立三和中学校

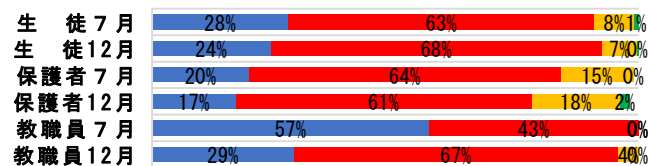
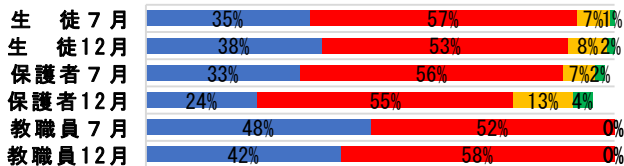
発行日:令和6年12月13日(金)

H P:sanwa.koga.ed.jp/

## ～第1回・第2回学校評価アンケート結果の比較・分析～

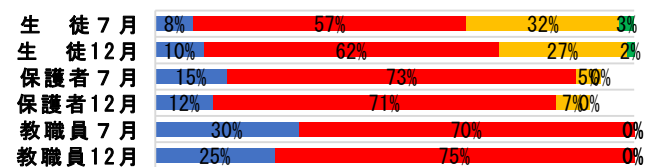
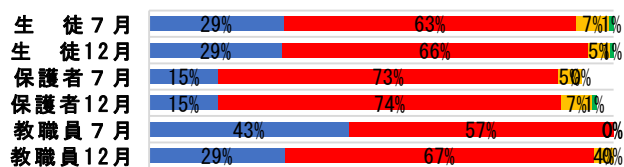
令和6年度の学校評価へのご協力ありがとうございました。学校評価は、本校教職員による自己評価に加えて生徒と保護者からの評価を併せて、本年度の教育活動全般について振り返り、次年度の取組へ広く生かしていくために実施するものです。集計結果（第1回・第2回の比較）がまとまりましたので、ご報告いたします。いただいたご意見を基に、活気ある学校づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

〔凡例〕青:とてもそう思う、赤:そう思う、橙:そう思わない、緑:全くそう思わない



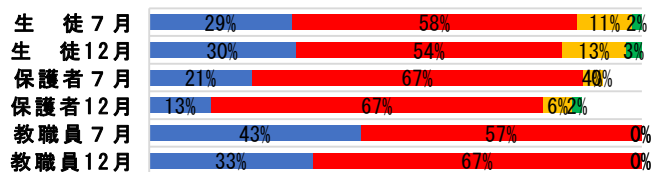
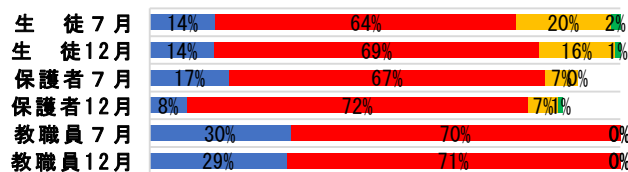
【No.1 学校生活】91%の生徒が「学校が楽しい」と肯定的に回答しています。学校生活適応を支援するため、個別学習室の校内フリースクール（校内名：カンファレンスルーム）を開設したり、スクールカウンセラーによる教育相談を実施したりするなど、支援に努めています。また、保護者の皆様との一層の連携を図っていきます。

【No.2 基本的な生活習慣】92%の生徒が「あいさつや時間の意識を持ち、習慣化している」と肯定的に回答しています。教職員の数値の変容は、「守らせる」から「考えさせる」指導に転換し、生徒に日常の問題を自分たちで解決させる意識の高揚を図っているためです。生活習慣の定着・深化に向け、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



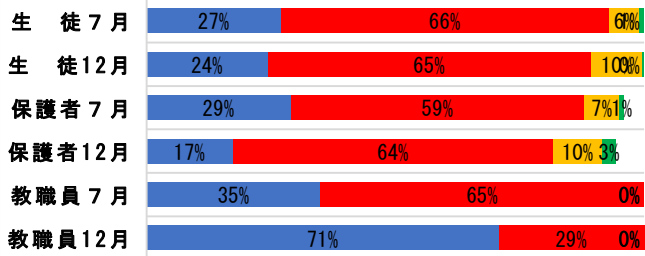
【No.3 自己管理能力】95%の生徒が「感情的にならず友達と仲よく生活している」と肯定的に回答しています。家庭生活でも同様の傾向がうかがえます。思春期にある中学生が自分の感情をコントロールする力を身に付けることは発達課題の一つです。学校では「共感」と「受容」、「考えさせる」を大切に引き続き生徒支援の充実に努めます。

【No.4 自己有用感】7月調査よりも向上し、72%の生徒が「自分のよさを理解し、役割を果たしている」と肯定的に回答しています。生徒会スローガン「百花繚乱～全員で咲かせ笑顔の花～」が浸透し、学校行事等を通して生徒が自分らしさとしてのよさや可能性を発揮していることの表れであると考えます。生徒主体の学校を目指します。

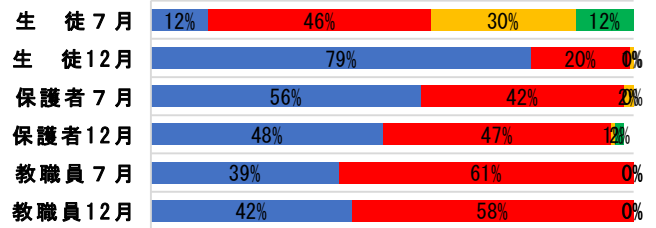


【No.5 他者との協働】83%の生徒が「意見の対立や理解の相違を解決し、他者と協働している」と肯定的に回答しています。学年が進むごとに肯定的回答が増えていることは素晴らしいことです。生徒の協働意欲や協調性を伸ばす観点から、教職員は受容的なかかわりを大切にし、生徒会役員を中心にリーダーの育成に努めています。

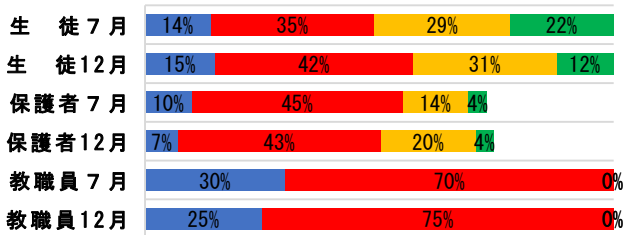
【No.6 学年集団】学年が進むほど、学級や学年集団の凝集性が高まり、所属意識が高揚していることは素晴らしいことです。発達の段階の途中で、対人関係のトラブルを抱えている生徒もおりますが、学年担当職員が複数の視点を大切にチームで支援策を考え、スモールステップを踏んで対応していきます。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



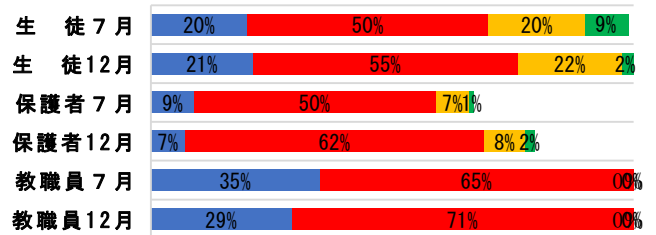
【No.7 規範意識】89%の生徒が「きまりを守って生活している」と肯定的に回答しています。学校では制服変更に伴う生活のきまりを見直しています。安全面や衛生面、多様性の観点からきまりの意義を考えることで、生徒の規範意識の高揚に努めていきます。このことで、ネットによるトラブル防止も図っていきます。ご協力をお願いいたします。



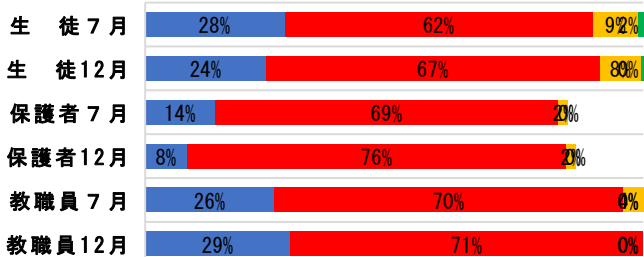
【No.8 安全意識】99%の生徒が「ヘルメットをかぶり、交通安全を意識して登下校している」と肯定的に回答しています。しかし、急な飛び出し等、地域の方から注意喚起のお電話をいただくこともあります。部活動後のパトロール等、交通事故防止に向け学校でも努力いたしますので、ご家庭においても事故防止に向けた声かけをお願いいたします。



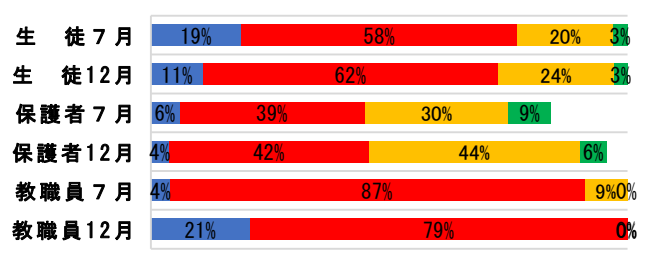
【No.9 教育相談】57%の生徒が「困ったり悩んだりした時に先生に相談している」と肯定的に回答し、前回調査よりも向上しています。ミラー効果（教師の姿勢が生徒に反映する）の意味を意識し、教職員は「傾聴する」ことを大切にし、温かなプラスの言葉かけを増やしていきます。このことで生徒にとって相談しやすい学校をつくりまします。



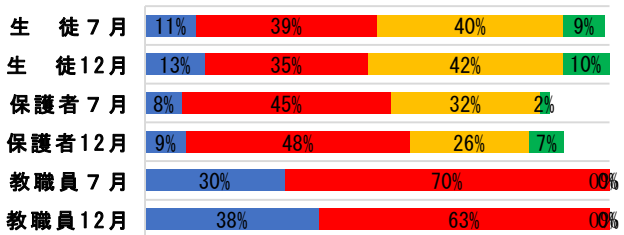
【No.10 いじめ防止対策】76%の生徒が「いじめを受けたりいじめを見たりしたらすぐに相談する」と肯定的に回答しています。定期的なアンケートやチャンス相談等、学校は生徒の発するSOSを受信する態勢づくりに努めていますが、ご家庭においても生徒の様子についてお気づきのことがありましたら、学年担当者まで連絡をお願いいたします。



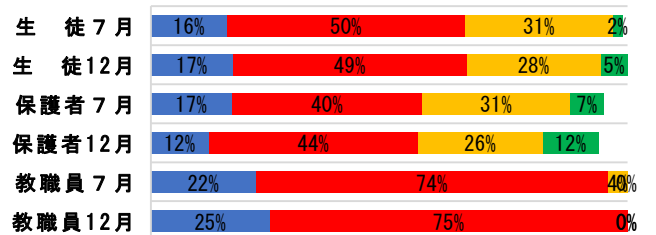
【No.11 生徒支援】91%の生徒が「間違っ行動やトラブル解決の指導支援を素直に受け入れる」と肯定的に回答しています。約1割の生徒への指導支援を充実させる意味からも、全職員による共通理解・共通実践の基に、発達の段階に応じて、保護者との連携を大切にしながら教育活動の充実に努めてまいります。



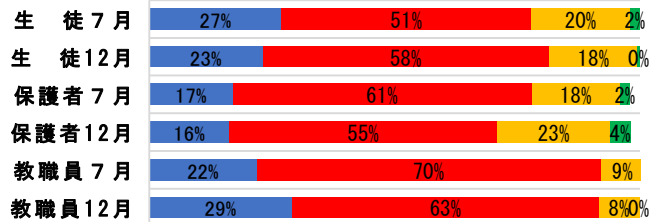
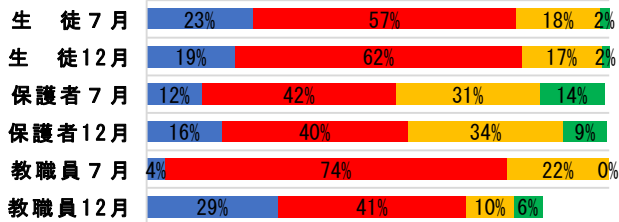
【No.12 学習指導】73%の生徒が「毎日の授業内容を理解している」と肯定的に回答しています。生徒の授業アンケートの結果からは、学習の見直しや振り返り、交流活動を大切に授業、視覚に訴える授業ほど「分かりやすい」とする回答が多く得られました。少人数指導の充実及びさらなる授業改善に努めます。



【No.13 学力向上】昨年度より改善は見られましたが、「授業中に進んで発表したり、他の解決方法を考えたりする」生徒の割合は低い傾向にあります。知識や技能の習得のみならず習得した知識や技能を活用して、思考・判断・表現できる生徒の育成に向け、ICT活用や日常や社会問題と関連した課題の設定等の工夫に取り組んでまいります。

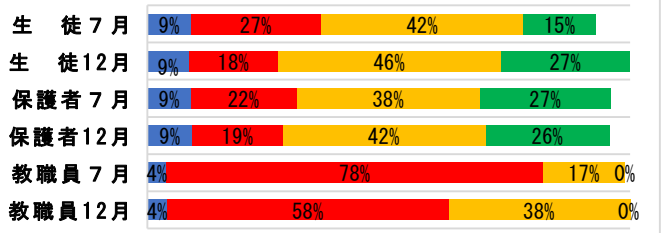
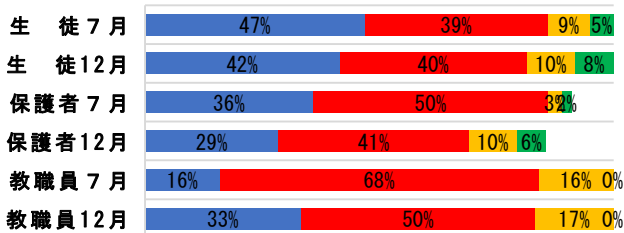


【No.14 家庭学習】66%の生徒が「計画的に家庭学習に取り組んでいる」と肯定的に回答しています。学習内容を「学力」として定着させるためには、家庭学習は重要な取組です。各学年や職員室横に、学年や教科に応じた家庭学習のモデル例を掲示しています。Qubenaを含め、学習の自立化に向けて自分なりの方法を工夫したいものです。



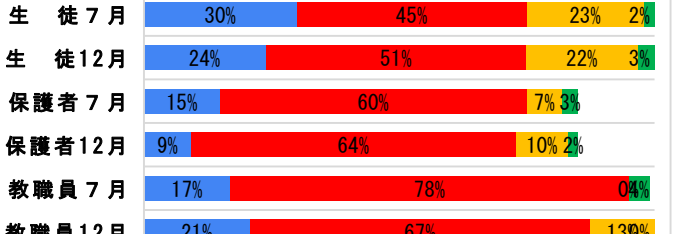
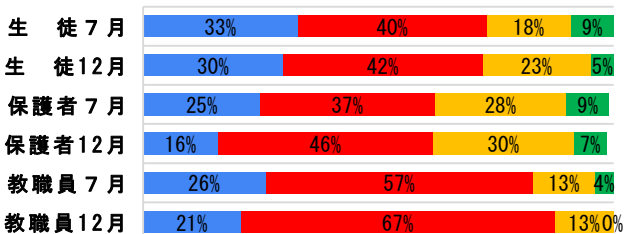
【No.15 勤労意欲】81%の生徒が「清掃活動や家庭での手伝いに進んで取り組んでいる」と肯定的に回答しています。2学期は生徒会主導による落ち葉掃きボランティアの活動もあり、教職員や保護者の数値も向上したものと受け止めています。「環境は人をつくる、その環境は人がつくる」の言葉もあります。さらなる充実を目指します。

【No.16 感染症予防】81%の生徒が「ていねいな手洗いや定期的な換気に気をつけている」と肯定的に回答しています。学校では、保健委員会を中心に、インフルエンザ等の感染症を予防するために手洗いやうがいを励行しています。ご家庭においても保健衛生面からの感染症予防について声かけをお願いいたします。



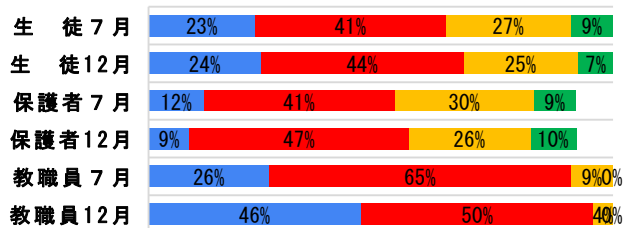
【No.17 部活動】前回調査よりは減少しましたが、82%の生徒が「計画的に部活動に取り組み、主体的に活動している」と肯定的に回答しています。学校では部活動運営方針に基づき、生徒数の減少に伴う部活動数の適正化を図るとともに、複数顧問制による指導を推進していきます。保護者の皆様にはご理解・ご協力をお願いいたします。

【No.18 読書活動】「進んで本を読み読書が習慣化されている」と肯定的に回答した生徒は27%と減少しています。大きな課題ととらえ、教育課程の中に読書の時間を設定するなどの対策を講じてまいります。思考力や読解力等、読書により得られるものは大きいことを再確認し、リニューアルした図書室の活用を図ります。



【No.19 規則正しい生活】72%の生徒が「早寝・早起き・朝ご飯など規則正しい生活を意識して生活している」と肯定的に回答しています。規則正しい生活は、基本的な生活習慣の定着を促進し、教育活動の充実につながります。健康管理に留意するとともに、長期休業期間中の生活習慣の確立に向け、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

【No.20 開かれた学校づくり】75%の生徒は「学校からの配付物を必ず家の人に見せている」と肯定的に回答しています。学校では、保護者宛の連絡はit-serviceやスクリレ、たより等はスクリレやHP、生徒宛にはクラスルームを活用し、電子化を推進するとともに、校務の効率化を図っています。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



前回調査（7月実施）に続き、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございます。集計の都合上、「わからない」を除いたため、保護者評価は100%ではありません。多くの励ましのお言葉や貴重なご意見をいただきましたことに重ねて感謝申し上げます。記述回答の中には、改善しなければならない点や丁寧な説明が必要である点を再確認することができました。前回調査より改善している項目は薄黄色にしております。いただいた意見等は今後の学校運営に生かしてまいります。



【No.21 キャリア教育】68%の生徒が「将来の方向性について家の人と話し合っている」と肯定的に回答し、前回調査より向上しています。学校では、総合的な学習の時間や学級活動において、将来の進路を考える時間を設け、具体的な情報を提供しています。ご質問等ありましたら、学年担当者か教務部までお問い合わせください。

※HP「行事予定表」の各月予定の中に、1月より「毎日の下校時刻」を掲載いたします。ご活用ください。なお、急な変更はメール等でお知らせさせていただきます。

